

開催に向けて取り組む施策

令和6年8月2日（金）

第3回 2027年国際園芸博覧会関係府省庁連絡会議



**EXPO
2027**
YOKOHAMA JAPAN

基本方針※に位置づけられた準備及び運営のための施策

(1) 会場整備関係

- ① 着実な会場整備等の推進
- ② 会場への円滑なアクセスの確保
- ③ 関連する公共事業の推進

(2) セキュリティ・ICT関係

- ① 適切なセキュリティや安全・安心の確保
- ② 円滑な運営に必要な取組の推進

(3) 参加招請関係

- ① 各国・国際機関に対する参加招請活動の展開

(4) 機運醸成関係

- ① 全国的な機運醸成や資金の調達の観点からの取組
- ② みどりのコンセプトに合致する集客性の高い施設等との連携
- ③ 大阪・関西万博との連携
- ④ 国際的な大規模行事の機会を活用した情報発信

※2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO2027）の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（R5.8.31）

【2027年国際園芸博覧会関係閣僚会議決定】₁

(1)会場整備関係

①着実な会場整備の推進

- 建築資材等については、ネットゼロや循環経済の観点から、木材利用を推進し、花粉症対策にも資するスギ材等の国産材やCLTの活用を検討。
- 各国からの展示用植物に伴う、国内未発生 of 病虫害の侵入防止及び円滑な検査の実施に向け、検疫体制の人的・物的強化を推進。
- 多くの外国人来場者が見込まれることから、多言語化やピクトグラム等の表示の整備。

②会場への円滑なアクセスの確保

- 開催期間中は1,000人万人を超える来場者を想定しており、国内外からのスタッフ、ボランティア等の運営関係者を含めて会場への交通アクセス集中が予想され、特に来場者については、会場内の植物の開花時期や天候等の諸条件によって大きな変動が生じることに考慮。
- 道路、鉄道の他、空港や港湾など多様なアクセスが見込まれるため、主要アクセスルートへの誘導を行うとともに、必要に応じて機能強化を図り、会場への円滑なアクセスを確保。
- 会場周辺が既成市街地であることを十分留意し、シャトルバスの運用等により交通総量を抑制するための対策を講じ、本博覧会の開催が一般交通及び会場周辺の住民に与える影響を最小限に抑制。

③関連する公共事業の推進

- 開催準備期間において関連する公共事業を実施。
- 来場者等の会場への輸送交通施設、アクセス交通を安全・円滑にする施設、会場の運営に必要な施設、周辺の環境形成・向上に必要な施設の整備を推進。

【当面の主な取組】

項目	お願い事項	関係府省庁
環境配慮型車両（EVバス等）の調達	補助制度の要綱整備等に係る調整	環境省

(2)セキュリティ・ICT関係

①適切なセキュリティや安全・安心の確保

- 様々な脅威への対処と本博覧会の円滑な準備及び運営との調和を図り、全ての来場者、運営関係者及び国民が安心して楽しむことができるよう、広く関係者の理解と協力を得ながら各種の対策を実施。
- 「「世界一安全な日本」創造戦略2022」の実現に向けた政府を挙げての総合的な取組を進めるほか、関係機関が緊密に連携し、情報の共有、対策の検討・実施、訓練等を推進。
- テロ対策については、情報収集・分析、水際対策、上空を含む会場及びその周辺の警戒警備、対処能力等を強化するとともに、官民一体となったテロ対策及び国際協力を強力に推進。
- サイバーセキュリティ対策については、国全体のサイバーセキュリティ戦略を着実に実施するほか、本博覧会開催におけるリスクを明確にした上で、関係府省庁、博覧会協会、神奈川県・横浜市等との緊密な連携の下、必要な対策を実施。
- 防災・減災対策については、首都直下型地震等の大規模地震や、台風・豪雨等の風水害を始めとする各種自然災害、火災等が発生した場合における来場者及び運営関係者の避難誘導、ライフライン確保、帰宅困難者への対処、消防・救急体制の整備等の対策を検討、推進。
- 感染症対策については、既存の感染症のみならず、新たな感染症が発生する可能性も念頭に、海外及び国内の発生動向も踏まえながら、水際対策や感染症の監視体制や事案発生時の対策を検討。
- 暑熱対策については、グリーンインフラ等を活用し、来場者や運営関係者が過ごしやすい環境を整備するとともに、ハード・ソフト両面の暑さ対策や、熱中症等の関連情報に関する情報発信、救急医療・輸送体制を整備。
- 食品取扱施設における施設・設備の衛生管理や食品の衛生的な取扱いなど、食中毒予防を推進。

【当面の主な取組】

項目	お願い事項	関係府省庁
会場運営に係るセキュリティ等に関する基本計画の策定	基本計画策定に係る調整	内閣官房（危機管理）、内閣府（防災）、警察庁、消費者庁、総務省、厚生労働省、財務省（税関）、防衛省 等

(2)セキュリティ・ICT関係

②円滑な運営に必要な取組の推進

- 外国人来場者の円滑な受け入れに向けた、CIQ（税関・出入国管理・検疫）体制の人的・物的強化を推進。
- ICT・AI等のデジタル技術を活用することで、リアルとデジタルとの融合を図り、来場者の満足度の向上とともに、自動運転等の活用やマイナンバーカードを活用する等の入場管理等の効率的な運用体制について検討。
- 本博覧会に関心を持つ多くの人々にとって、花・緑・食・農を通じた体験・感動を得られるように、来訪前から、又は来訪せずともオンラインで参加・共創できる仕組み等の構築を推進。
- あらゆる来場者が体験・感動を得られるように、ユニバーサルデザインの考えに基づいたサービス環境の整備を推進。

【当面の主な取組】

項目	お願い事項	関係府省庁
CIQ（税関・出入国管理・検疫）体制の人的・物的強化	該当事項のリストアップ	関係省庁

(3)参加招請関係

①各国・国際機関に対する参加招請活動の展開

- 本博覧会では、過去に実施された園芸博覧会の公式参加者数や規模、横浜市での開催特性等を踏まえ、70程度の国・国際機関からの参加を目標。
- できる限り早期の参加表明を確保するため、日本の在外公館における広報・プロモーションも含めた政府全体での取組とともに、博覧会協会、地方公共団体、関係機関及び経済界を含めたオールジャパンで世界各国への参加招請活動を着実に実施。
- 参加国に対して、査証発給及び社会保障制度に関する特別措置等の出入国等に係る円滑な準備及び運営に必要な措置。

【当面の主な取組】

項目	お願い事項	関係府省庁
オールジャパンで世界各国への参加招請活動を着実に実施	国際会議やバイ会談等における参加呼びかけ、ブース出展調整	外務省 等
査証発給に関する特別措置	在留資格等に関する特別な措置の調整	出入国在留管理庁、 外務省 等
社会保障制度に関する特別措置	社会保障制度に関する特別な措置の調整	厚生労働省

(4)機運醸成関係

①全国的な機運醸成や資金の調達の観点からの取組

- 本博覧会が、国家的プロジェクトであることを認識し、全国的な機運醸成や資金調達を実施。
- 政府は、博覧会協会や神奈川県・横浜市が作成する機運醸成のためのロゴマークや動画等のコンテンツを積極的に活用した、あらゆる機会を捉えた機運醸成。
- 園芸博法に基づく寄附金付郵便葉書・郵便切手の発行、記念自動車ナンバープレートの発行。
- 横浜市等は、ふるさと納税、企業版ふるさと納税等の制度を積極的に活用。

【当面の主な取組】

項目	お願い事項	関係府省庁
花・緑・食・農等に関連する施設へのポスターの掲示、動画の活用によるPR活動	該当施設のリストアップ	全府省庁
関連する行催事へのブース出展、チラシ配布等のPR活動	該当行事のリストアップ	全府省庁
記念自動車ナンバープレートの発行	官用車への取り付け	全府省庁
寄附金付郵便切手等の発行	発行に向けた調整	総務省等

(4)機運醸成関係

②みどりのコンセプトに合致する集客性の高い施設等との連携

- 花・緑・食・農等をテーマとして、地域の食文化の体験、農山漁村との交流及び自然公園や文化的景観を有する地域等の施設や行事等との連携を深め、日本全国の魅力を発信することで、グリーンツーリズム等のインバウンド観光や地域創生に資する取組を推進。
- 会場周辺には大規模公園や動植物園などの集客性の高い施設も点在していることから、これらとの連携によるインバウンド観光や教育旅行等を促進。
- 開催期間前から関係機関・団体、地方公共団体、住民、企業、研究機関等の主体との共創を目指した参画プログラムを検討、実施。

【当面の主な取組】

項目	お願い事項	関係府省庁
花・緑・食・農等に関連する体験活動、施設等と連携したPR活動	該当活動・施設のリストアップ	文科省、環境省、観光庁等
教育旅行の誘致に向けた準備	学校関係機関との調整	文科省
生物多様性、ネイチャーポジティブ、GXに関する政策との連携、コンセプトの実装、ポスト2030をにらんだ情報発信等	関連する政策に係る連携促進	環境省ほか各府省庁
園芸博を契機とした、日本のそれぞれの地域の魅力の発信、インバウンドの拡大や地域振興の実現	各府省庁の関連施策等のリストアップ、予算要求	観光庁ほか各府省庁

(4)機運醸成関係

③大阪・関西万博との連携

- 我が国の技術・産業・伝統・文化等を国際社会に発信する絶好の機会と捉え、常に相互連携・情報発信等を行うことによる相乗効果。
- 国際園芸博覧会の準備及び運営に当たっては、先行する大阪・関西万博でのノウハウやレガシーを最大限に発揮。

【当面の主な取組】

項目	お願い事項	関係府省庁
相互連携・情報発信等	情報発信の連携	内閣官房国際博覧会推進本部事務局、経済産業省をはじめとした全府省庁
大阪・関西万博でのノウハウの共有、レガシーの発揮	各種情報の共有 大阪・関西万博における取組の承継	内閣官房国際博覧会推進本部事務局、経済産業省をはじめとした全府省庁

(4)機運醸成関係

④国際的な大規模行事の機会を活用した情報発信

- 2027年までに行われる国際的な大規模行事、国際会議、教育機関等の場を活用し、あらゆる機会を捉えた情報発信、機運醸成。
- 特に、花・緑・食・農等をテーマとした行事について積極的な連携を図り、園芸博覧会の開催意義について広く発信。
- 国際園芸博覧会を、我が国の技術・産業・伝統・文化等を国際社会に発信する機会と捉え、花・緑・食・農に関する施策のみならず、日本の魅力や東日本大震災からの復興の状況等を世界に発信する。

【当面の主な取組】

項目	お願い事項	関係府省庁
園芸博開催前の国際会議等での情報発信	該当行事、会議等のリストアップ	全府省庁
カーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ、生物多様性、グリーンインフラに関する最先端のエネルギー・環境関連技術等各府省庁の施策・技術等の実証、実装、デモンストレーション デジタル技術を駆使した展示・発信	対象となる施策・技術等のリストアップ、実証等の検討	環境省ほか各府省庁